

せいどうかいのガイドライン

～保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領・子どもの権利条約に準じて～

- 教育・保育理念「共生と共学」 ～社会で個を育み、個が社会と繋がっていく～
 - ・すべての子どもたちは、自分らしく伸び伸びと育つ権利があります。
 - ・親、保育者、仲間みんなで子どもを支えます。
 - ・子どもたちが育ち合う集団的な学びの時間を何より大切にします。
- 子ども主体の保育の創造
 - ・心と体を整え、バランスの取れた豊かな環境を整えます。
 - ・共に育ち合う、支え合う関係性の基礎を作ります。

(1) 子どもの権利 「自分らしくいることが一番の宝物です」

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 子ども自身のやりたいという思いを大切にしている |
| <input type="checkbox"/> 子どもの興味・関心に沿った遊びの環境をゾーンとして整えている |
| <input type="checkbox"/> 子どもの休む権利、遊ぶ権利を認めている |
| <input type="checkbox"/> 子ども自身が生活の切り替えを自分のペースでできることを認めている |
| <input type="checkbox"/> 子ども自身が自分の思い、考えを表現する時間が保証されている |

(2) 施設の役割 「安心して過ごせる場を作る」

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 私たちの役割は、保育を必要とする子どもの保育を行うことを認識している |
| <input type="checkbox"/> 子どもの最善の利益と最もふさわしい生活の場の重要性を理解している |
| <input type="checkbox"/> 家庭との連携、子どもの発達過程を踏まえ、環境を通じた保育を心掛けている |
| <input type="checkbox"/> 私たちの役割は入所児童の子育て支援に限らず、地域の支援の充実にも努めている |
| <input type="checkbox"/> 養護と教育を一体的に行うことへの理解が深められている。 |

(3) 教育・保育の目標 「望ましい未来への基礎をつくる」

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> くつろぎと健康で安全な環境を整えるようにしている |
| <input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生理的欲求が十分に満たされている |
| <input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりのいつもの様子と成長・発達が理解、共有されている |
| <input type="checkbox"/> 登降園時の連絡事項などが確認・記入され、適切に引き継がれている |
| <input type="checkbox"/> 一方的に保育者が主導的に行うのではなく、子どもの状態に応じて適切な援助や応答的な関わりが大切にされて、実践されている |
| <input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの発達に応じて、家庭と園との生活リズムが整えられている |
| <input type="checkbox"/> 子どもの状況に応じて適度な運動と休息が取ることができる、又は場所が整えられている |
| <input type="checkbox"/> 食事・排泄・睡眠・着脱などは、子どもの意欲を損なわず、適切に援助されている |
| <input type="checkbox"/> 安心した環境の中で、自分の気持ちを素直に表せるよう、主体として認識されている |
| <input type="checkbox"/> 子どもの状態に応じて、子どもの気持ちを損なわず、応答的な触れ合いや言葉かけが行われている |
| <input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの気持ちを受容し、共感、援助することで信頼関係を築いている |
| <input type="checkbox"/> 子ども自身が意欲的に活動に参加でき、自発性や探索意欲などが引き出されている |
| <input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生活リズム、在園時間に応じて活動内容やバランスの調和が図られている |

(4) 教育・保育の方法 「保育者は理解者、共同作業者、支援者、見守る存在である」

<input type="checkbox"/> 保育者は何よりも、子どもの思いや願いを受け止めることを大切にしている
<input type="checkbox"/> 保育者は子どもの生活リズムを大切に、更に自己を発揮できる環境を整えるよう努めている
<input type="checkbox"/> 保育者は〇才だから、〇△だからと個人的な主観を持たず、一人ひとりの発達に応じて保育を行うことを意識し、更に共有している
<input type="checkbox"/> 子どもの活動は個人、グループ、クラスなど多様に展開されることを踏まえ、職員の協力体制をつくりながら、子ども一人ひとりの興味や欲求が満たされるよう適切に援助を行うことを心掛けている
<input type="checkbox"/> 子どもの育ちは生活や遊びを通して行うものであり、一方的な押し付けで行うものではないことをチーム全体で心掛けている
<input type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者の状況やその意向を理解、受容しながらも適宜、適切に援助することを心掛けている

(5) 教育・保育環境 「学びのおもちゃ箱」

<input type="checkbox"/> 子ども自らが自発的に活動できる場所と物が整えられている
<input type="checkbox"/> 子どもの発達や興味・関心に応じて適切に配置、工夫されている
<input type="checkbox"/> 子どもの活動が豊かになるよう、施設全体での環境を整え、総合的に応答している
<input type="checkbox"/> 子どもの関わりを広げるような場所や空間の工夫、又は積極的な交流の場を大切にしている
<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりが安心と意欲、見通しを持ち生活できるよう、生活活動の切り替え（遊ぶ・食べる・寝る）の際は、急かされることなく、自分のペースで行えるよう、適切な関わり、見守りが浸透している

せいどうかいでは、

子どもを 1人の立派な人間として、また能動的な学習者として、その伸びようとする育ちを最大限に引き出していきます。

でもそれには保育者1人ひとりが同じく保育を創造する主体者として意識をすること、更に保育者同士のチームワークが必要不可欠です。

あなたらしく、私たちらしい職場をみんなで作り上げていきましょう。 その楽しい雰囲気の中で育つ子どもたちは必ず未来を創る存在となるはず

「想像を超える未来の創造！」 それは「今」の保育の可能性です